

SMICが考える新しい時代の働き方

千住金属工業グループの製品は、半導体を中心とする、社会基盤を支える様々な製品・サービスに対して重要なそのため、新型コロナウイルスという未曾有の危機においても、国の方針に従い事業を継続することが当社の社

役割を担っています。特に、はんだ製品は半導体材料の一つとして欠かせないものです。社会的責任であると考え、様々な取り組みを実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大に関わる社会情勢

2020
1/14
WHO 新型コロナウイルスを確認

2/11
WHO 新型コロナウイルスを「COVID-19」と命名

3/11
WHO 「パンデミック」と宣言

4/7
緊急事態宣言発令 (4/16 全国に拡大)

5/25
緊急事態宣言解除

~現在
with コロナ時代

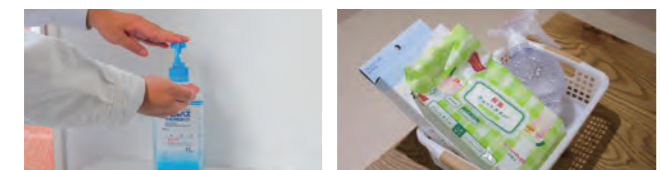
SMIC グループの対応

▶ 緊急事態宣言発令前

従業員の安全と健康を守るため、感染予防とソーシャルディスタンスを確保した環境を整えました。

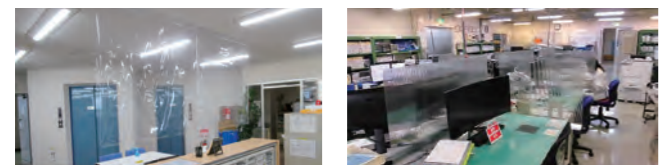
感染予防の徹底

- 社内共用部の清掃・除菌を毎日行い、清潔な社内環境を維持
- 社内手指消毒液ボトルを設置
- 各会議室と打ち合わせスペースにアルコール消毒キットを設置



ソーシャルディスタンスの確保

- 社員食堂の昼食時間を分散し、間隔を空けた着席の実施
- 喫煙スペースにおける距離の確保
- 社内受付カウンターにカーテンを設置
- オフィスにデスクウォールを設置



▶ 緊急事態宣言発令後

人同士の接触を減らしながら事業が継続できるよう、「新しい生活様式」に合わせた取り組みを実施しました。

人の移動制限・管理の導入

- TV会議を活用し、会議室内の人数を制限
- 社屋の棟間通路を封鎖し、建物間の移動を制限
- 作業場入口に入退室記録表を設置
- 来訪者の方へ感染防止対策のお願い



リモートワーク・オフィス分散の実施

- 営業・間接部門を本社、草加事業所、栃木事業所に分散。従業員は自宅から近い事業所に出勤し、通勤における感染リスクの軽減と事業継続を両立
- 営業・開発・間接部門でリモートワークを導入
- 時差通勤と時短勤務を導入し、通勤における感染リスクを軽減



▶ 緊急事態宣言解除後～ with コロナ時代

「グループ応援システム」を導入し、事業を継続できる体制を構築

技能・技術を持った人材がグループ会社間でスムーズに適材適所へ配備できるようにしました。社会ニーズに合わせた技能・技術力の有効活用と従業員の雇用維持を図っています。



▶ With/After コロナ時代

多様性によるサステナビリティ経営の構築

今後は、感染症のみならず、気候変動、自然災害などグローバルな危機に対して、長期的なサステナビリティ（持続可能性）を意識した経営が求められるものと考えられます。千住金属工業グループは、災害に対するリスクマネジメントの構築と早期復旧体制を整備するとともに、多様性こそがサステナビリティの推進に必要であると考え、ホールディングス化により多様な人材・事業の総合力を高めながら、従業員がそれぞれの持ち味を発揮できる職場環境・制度の構築を進めています。

海外グループ会社の新型コロナウイルス対応

すべてのグループ会社が感染防止対策を実施しながら、操業を続けています。

Senju Comtek Corp.	3月下旬操業再開
Senju Manufacturing Europe s.r.o.	操業止めず継続
北京千住電子材料有限公司	2月上旬操業再開
千住金属（天津）有限公司	2月下旬操業再開
千住金属（上海）有限公司	2月上旬操業再開
千住金属（惠州）有限公司	2月上旬操業再開
千住電子材料（香港）有限公司	操業止めず継続
日商千住金属工業股份有限公司 高雄分公司	操業止めず継続
Senju (Malaysia) Sdn. Bhd.	4月下旬操業再開
Senju (Thailand) Co., Ltd.	操業止めず継続
Senju Solder (Phils.) Inc.	5月上旬操業再開
韓國千住金属株式會社	操業止めず継続

